

「話すこと[やり取り]」の指導におけるお互いの考えや気持ちなどを伝え合う活動（小学校）

1 単元名

NEW HORIZON Elementary English Course 5 Unit 5 「Where is the post office ?」

2 内容のまとめ

小学校第5学年 「話すこと [やり取り]」 イ

3 単元の目標

自分の知りたい場所や位置を尋ねたり、相手を案内したりするために、場所や位置の尋ね方や答え方などについて、伝え合ったりすることができる。

4 単元の評価規準「話すこと [やり取り]」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] Where is ~? Go straight for ~ block (s) .Turn left/right. It's by/in/on/under ~.You can see it on your left/right. 及びその関連語句などについて理解している。</p> <p>[技能] 場所や位置の尋ね方や答え方などについて、Where is ~? …等の表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>自分の知りたい場所や位置を尋ねたり、相手を案内したりするために、場所や位置の尋ね方や答え方などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p>	<p>自分の行きたい場所や位置を尋ねたり、相手を案内したりするために、場所や位置の尋ね方や答え方などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p>

5 指導と評価の計画（8時間）

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

時数	ねらい（■）、主な言語活動等（丸数字）	知	思	態	評価方法
1	<p>■単元の目標を理解し、学習活動の見通しをもつ。</p> <p>■登場人物の道案内や、外国の地図記号などについての話を聞く。</p> <p>①英語を聞いて、行き先までの道順を書く。</p> <p>②道案内の語句や道順を尋ねる表現を学習する。</p>				
2	<p>■探し物がどこにあるのか尋ね合ったり、登場人物になりきって道案内をしたりする。</p>		○	○	
3	<p>①位置に関する語句を学習する。</p> <p>②道順を表す表現を学習する。</p>				
4	<p>■道案内、位置、日常生活、建物などに関する語句や表現に慣れ親しむ。</p> <p>①日常生活に関する語句を学習する。</p> <p>②友達と探し物がどこにあるのか尋ね合う。</p>		○	○	
5	<p>■マイタウン「地図」をペアで作る。</p> <p>①建物に関する語句を学習する。</p> <p>②町にあったらよい場所を考え、尋ね合う。</p>	○	○		行動観察 ワーク
6	<p>■マイタウン「地図」をもとに、道案内をする。</p> <p>①行きたい場所を一つ決めて、ペア内で尋ね合う。</p> <p>②教室を「マイタウン」に見立て、道案内をし合う。</p>	○	○	○	行動観察 ワーク
7	<p>■世界の地図や標識、英語と日本語の違い等を考える。</p> <p>関東地方に住むデービッドさんの映像を視聴する。</p>				
8	<p>①ピクトグラムを使って町を紹介する。</p> <p>②関東地方に住むデービッドさんの映像を視聴する。</p> <p>③Unit5のまとめ【スピーキング・クエストの活用(SQ)】</p>	○	○		行動観察 SQデータ

【POINT】
テキストの「場所カード」を活用し、マイタウン「地図」をペアで作成し、道案内に関するやり取りを行います。「相手が行きたい場所に案内する」という目的を確認し、ノートやオリジナル地図を確認しながら、自信をもってやり取りできる十分な時間の確保と環境を作ることが大切です。

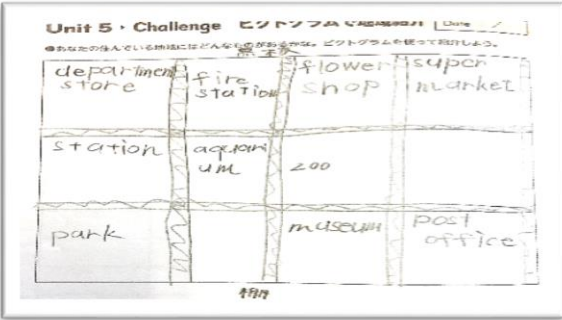
【POINT】
児童は、自分の技能に応じたスピーキング・クエストを活用して、場所や位置の尋ね方や答え方など道案内の表現の定着状況を把握します。児童が取り組んだ結果を確認することにより、次時の指導に生かすことが大切です。

※実際の指導と評価に当たっては、他の領域（「書くこと」）の評価規準を設定し、「指導と評価の計画」を立てることも考えられます。

「話すこと[やり取り]」の指導におけるお互いの考えや気持ちなどを伝え合う活動（小学校）

6 評価例

「話すこと [やり取り]」（知識・技能）（思考・判断・表現）

<p>評価場面</p>	<p>活動内容：自分の行きたい場所をカードから一つ選んで尋ねたり、マイタウン「地図」をもとに、相手を目的地まで案内したりする。</p>	
<p>評価方法</p>	<p>やり取り内容の分析</p>	
<p>児童のやり取り例及び評価例</p>	<p style="text-align: center;">【児童のやり取り】</p> <p><u>パターン①</u> 児童 A: Excuse me? 児童 B: Yes? 児童 A: Where is the post office? 児童 B: Go straight two block. Turn left. Go straight one block. You can see it. 児童 A: Thank you.</p> <p><u>パターン②</u> 児童 B: Excuse me? 児童 A: Yes? 児童 B: Where is the …station? 児童 A: Go straight three blocks. Turn right. Go straight one block. You can see it on your right. 児童 B: Thank you.</p> <p style="text-align: center;">【ワークシート「マイタウン『地図』】</p> 	<p style="text-align: center;">【評価例】</p> <p>〔知・技〕・・・a 必要な語句を理解し、尋ね方や考え方などについて、正確に [Where is ～.等の表現] 聞いたり、伝え合ったりしている。</p> <p>〔思・判・表〕・・・a 行きたい場所の尋ね方や答え方などについて、適切な言葉を考え、正しい表現を的確に使い、話している。</p> <p>〔知・技〕・・・b 必要な語句を概ね理解し、尋ね方や答え方などについて、自分の力で聞いたり、伝え合ったりしている。</p> <p>〔思・判・表〕・・・b 行きたい場所の尋ね方や答え方などについて、表現する言葉を考え、目的地までの道順を話している。</p>

〔実践してみたの成果と課題〕

【成果】

- ・本校の CAN-DO リストと照らし合わせ、毎時間の児童の振り返りから次時の学習内容を修正しながら取り組んできたことにより、知識・技能についてはどの児童も概ね満足できる状況にすることができた。

【課題】

- ・自分の行きたい場所や目的地について、必要感をもたせる工夫が足りなかったことから、主体的な活動とするために児童のアイデアを取り入れた活動にする必要がある。